

妙法蓮華經。

方便品。

第二

二

爾時世尊。

從三昧安詳而

起。告舍利弗。諸仏智慧。

甚深無量。其智慧門。難

解難入。一切声聞。辟支

仏。所不能知。所以者何。

仏曾親近。百千萬億。無

数諸仏。尽行諸仏。無量

道法。勇猛精進。名称普

聞。成就甚深。未曾有法。

随ずい宜ぎ所しよ説せつ。意い趣しゆ難なん解げ。舍しや
利り弗ほつ。吾ご從じゆう成じゆう仏ぶつ已ち來らい。種しゆ
種じゆ因いん縁ねん。種しゆ種じゆう譬ひ諭ゆ。広こう演えん
言ごん教きやう。無む数しゆう方ほう便べん。引いん導どう衆しゆ
生じゆう。令りやう離り諸しよ著じやく。所しよ以い者しや何が。
如に來よ方らい便ほう。知ち見けん波は羅ら蜜みつ。
皆かい已い具ぐ足そく。舍しや利り弗ほつ。如に來よ
知ち見けん。広こう大だい深じん遠のん。無む量りやう無む
碍げ。力りき。無む所しよ畏い。禪ぜん定じゆう。
解げ脫だつ。三さん昧まい。深じん入にゆう無む際さい。
成じゆう就じゆう一いつ切さい。未み曾ぞう有う法ほう。舍しや

利弗。如来能種種分別。

巧說諸法。言辭柔軟。悦

可衆心。舍利弗。取要言

之。無量無邊。未曾有法。

仏悉成就。止。舍利弗。

不須復說。所以者何。仏

所成就。第一希有。難解

之法。唯仏与仏。乃能究

尽。諸法実相。所謂諸法。

如是相。如是性。如是体。

如是力。如是作。如是因。

如に是よ緣ぜ。如に是よ果か。如に是よ報ほう。

如に是よ本ほん末まつ究きう竟じやう等とう。爾に時じ世せ

尊そん欲よく重じゆう宣せん此し義ぎ。而に說せつ偈げ言ごん

世せ雄おう不ふ可か量りやう。諸しよ天てん及ぎやう世せ人にん

一い切さい衆しゆ生じやう類るい無む能のう知ち仏ぶつ者しや

仏ぶつ力りき無む所しよ畏い解げ脫だつ諸しよ三さん昧まい

及ぎやう佛ぶつ諸しよ余よ法ほう無む能のう測しき量りやう者しや

本ほん從じゆう無む數しゆ佛ぶつ具ぐ足そく行ぎやう諸しよ道どう

甚じん深じん微み妙みやう法ほう難なん見けん難なん可か了りやう

於お無む量りやう億おつ劫こう行ぎやう此し諸しよ道どう已い

道どう場じやう得とく成じやう果か我が已い悉しつ知ち見けん

如によ是ぜ大だい果いか報ほう

我が及ぎめう十じつ方ほう仏ぶつ

是ぜ法ほう不ふ可か示じ

諸しよ余よ衆しゆ生じよう類るい

除じよ諸しよ菩ぼ薩さつ衆しゆ

諸しよ仏ぶつ弟で子し衆しゆ

一い切つ漏ろ已い尽じん

如によ是ぜ諸しよ人にん等とう

假け使し滿まん世せ間けん

尽じん思し共ぐ度たく量りよう

正しやう使し滿まん十じつ方ほう

種しゆ種じゆ性しやう相そう義ぎ

乃ない能のう知ち是ぜ事じ

言ごん辞じ相そう寂じやく滅めつ

無む有う能のう得とく解げ

信しん力りき堅けん固こ者しや

曾ぞう供く養やう諸しよ佛ぶつ

住じゆう是ぜ最さい後ご身しん

其ご力りき所しよ不ふ堪かん

皆かい如によ舍しや利り弗ほつ

不ふ能のう測しき佛ぶつ智ち

皆かい如によ舍しや利り弗ほつ

及ぎゆう余よ諸しよ弟子でし

尽じん思し共ぐ度たく量りよう

辟ひやく支し仏ぶつ利り智ち

亦やく滿まん十じつ方ぼう界かい

斯し等とう共ぐ一いつ心しん

欲よく思し仏ぶつ實じつ智ち

新しん發ぼつ意ち菩ぼ薩さつ

了りよう達だつ諸しよ義ぎ趣しゆ

如によ稻とう麻ま竹ちく葦い

一いつ心しん以い妙みよう智ち

咸げん皆かい共ぐ思し量りよう

亦やく滿まん十じつ方ぼう刹せつ

亦やく復ぶつ不ふ能のう知ち

無む漏ろ最さい後ご身しん

其ご数しゆ如によ竹ちく林りん

於お億おく無む量りよう劫こう

莫まく能のう知ち少しやう分ぶん

供く養よう無む数しゆ佛ぶつ

又う能のう善ぜん說せつ法ぼう

充じゆう滿まん十じつ方ぼう刹せつ

於お恒ごう河がしや沙こう劫こう

不ふ能のう知ち佛ぶつ智ち

不退諸菩薩

一心共思求

又告舍利弗

甚深微妙法

唯我知是相

舍利弗當知

於仏所説法

世尊法久後

告諸声聞衆

我令脱苦縛

仏以方便力

其數如恒沙

亦復不能知

無漏不思議

我今已具得

十方仏亦然

諸仏語無異

當生大信力

要當説真實

及求縁覚乘

逮得涅槃者

示以三乗教

衆生处处著しゆじゆうしよしよじやく 引之令得出いんしりようとくしめつ
爾時大衆中にじだいしゆうちゆう 有諸声聞うしよしやうもん
漏尽阿羅漢ろじんあらかん 阿若憍陳如あにやツきやうじんによ
等とう。千二百人せん に ひやくにん。及发声聞きやうほつしやうもん。
辟支仙心ひやくしおつしん。比丘びく。比丘尼びく に。
優婆塞うぼそく。優婆夷うぼい。各作是かくさせ
念ねん。今者世尊こんじやせそん。何故慙懃がこうおんこん。
称歎方便しやうたんほうべん。而作是言にさせこん。仏ぶつ
所得法しよとくほう。甚深難解じんじんなんげ。有所うしよ
言說ごんぜつ。意趣難知いしゆなんち。一切声いっさいしやう
聞もん。辟支仙ひやくしおつ。所不能及しよふのうきやう。

仏ぶつ説せつ一いち解げ脱だつ義ぎ。我等がとう亦やく得とく
此し法ほう。到とう於お涅ね槃はん。而に今こん不ふ
知ち。是ぜ義ぎ所しよ趣しゆ。爾に時じ舍しや利り
弗ほつ。知ち四し衆しゆ心しん疑ぎ。自じ亦やく未み
了りよう。而に白ひやく仏ぶつ言ごん。世せ尊そん。何が
因いん何が縁えん。慇おん懃ごん称しよう歎たん。諸しよ仏ぶつ
第だい一いち方ほう便べん。甚じん深じん微み妙みよう。難なん
解げ之し法ほう。我が自じ昔しやく来らい。未み曾ぞう
從じゆう佛ぶつ。聞もん如によ是ぜ説せつ。今こん者しや四し
衆しゆ。咸げん皆かい有う疑ぎ。唯ゆい願がん世せ尊そん。
敷ふ演えん斯し事じ。世せ尊そん何が故こ。慇おん

懃ごん称しょう歎たん。甚じん深じん微み妙みょう。難なん解げ

之し法ほう。爾に時じ舍しゃ利り弗ほつ。欲よく重じゅう

宣せん此し義ぎ。而に說せつ偈げ言ごん

慧え日にち大だい聖しょう尊そん。久く乃ない說せつ是ぜ法ほう

自じ說ぜつ得とく如に是よ。力りき無む畏い三さん昧まい

禪ぜん定じょう解げ脱だつ等とう。不ふ可か思し議ぎ法ほう

道どう場じょう所しよ得とく法ほう。無む能のう發ほつ問もん者しや

我が意い難なん可か測しき。亦やく無む能のう問もん者しや

無む問もん而に自じ說せつ。称しょう歎たん所しよ行ぎょう道どう

智ち慧え甚じん微み妙みょう。諸しよ仏ぶつ之し所しよ得とく

無む漏ろ諸しよ羅ら漢かん。及ぎきう求ぐ涅ね槃はん者しや

今こん皆かい墮だ疑ぎ網もう

其こ求ぐ緣えん覺がく者しや

諸しよ天てん龍りゆう鬼き神じん

相そう視じ懷え猶ゆ豫よ

是ぜ事じ為い云うん何が

於お諸しよ声しやう聞もん衆しゆ

我が今こん自じ於お智ち

為い是ぜ究く竟きやう法ほう

仏ぶつ口く所しよ生しやう子し

願がん出すい微み妙みやう音おん

諸しよ天てん龍りゆう神じん等とう

仏ぶつ何が故こ說せつ是ぜ

比び丘く比び丘く尼に

及ぎつ乾けん闍だつ婆ぼ等とう

瞻せん仰ごう兩りやう足そく尊そん

願がん仏ぶつ為ち解げ說せつ

仏ぶつ說せつ我が第だい一いち

疑ぎ惑わく不ふ能のう了りやう

為い是ぜ所しよ行きやう道どう

合がつ掌しやう瞻せん仰ごう待だい

時じ為い如に實じつ說せつ

其こ數しゆ如に恒ごう沙しや

求ぐ 仙びつ 諸しよ 菩ぼ 薩さつ

大だい 数しゆ 有う 八はち 万まん

又う 諸しよ 万まん 億ノツ 国こく

轉てん 輪りん 聖じよう 王おう 至し

合が 掌しやう 以い 敬きやう 心しん

欲よく 聞もん 具ぐ 足そく 道どう

爾に 時じ 仙びつ 告ごう

舍しや 利り 弗ほつ 止し

止し。不ふ 須しゆ 復ぶ 說せつ。若にや 說くせつ 是せ 事じ。

一いつ 切せい 世せ 間けん。諸しよ 天てん 及ぎ 人にん。皆かい

当とう 驚きやう 疑ぎ。舍しや 利り 弗ほつ。重じゆう 白びやく 仙びつ

言ごん。世せ 尊そん。唯ゆい 願がん 說せつ 之し。唯ゆい

願がん 說せつ 之し。所しよ 以い 者しや 何が。是ぜ 会え

無む 数しゆ。百ひやく 千せん 万まん 億ノク 阿あ 僧そう 祇ぎ 衆しゆ

生じやう。曾ぞう 見けん 諸しよ 仙びつ。諸しよ 根こん 猛みやう 利り。

智慧明了。聞仏所説。則
能敬信。爾時舍利弗。欲
重宣此義。而説偈言
法王無上尊。唯説願勿慮
是會無量衆。有能敬信者
仏復止舍利弗。若説是事。
一切世間。天人阿修羅。
皆當驚疑。增上慢比丘。
將墜於大坑。爾時世尊。
重説偈言
止止不須説。我法妙難思

諸しよ增ぞう上じよう慢まん者しゃ 聞もん必びつ不ぶ敬きよう信しん
 爾に時じ舍しや利り弗ほつ。 重じゆう白びやく仏ぶつ言ごん。
 世せ尊そん。 唯ゆい願がん說せつ之し。 唯ゆい願がん說せつ
 之し。 今こん此し會え中ちゆう。 如に我が等とう比び。
 百ひやく千せん万まん億ノク。 世せ世せい已い會ぞう。 從じゆう
 仏ぶつ受じゆ化け。 如に此し人にん等とう。 必ひつ能のう
 敬きよう信しん。 長じよう夜や安あん穩ノん。 多た所しゆう饒にゆう
 益やく。 爾に時じ舍しや利り弗ほつ。 欲よく重じゆう宣せん
 此し義ぎ。 而に說せつ偈げ言ごん
 無む上じよう兩りよう足そく尊そん 願がん說せつ第だい一いつ法ほう
 我が為い佛ぶつ長ちよう子し 唯ゆい垂すい分ふん別べつ說せつ

是會無量衆

能敬信此法

仏已曾世世

教化如是等

皆一心合掌

欲聽受仏語

我等千二百

及余求仏者

願為此衆故

唯垂分別説

是等聞此法

則生大歡喜

爾時世尊

告舍利弗。汝

已慇懃三請。

豈得不説。

汝今諦聽。

善思念之。吾

當為汝。

分別解説。説此

語時。

會中有比丘。

比丘

尼。優婆塞。優婆夷。五
千人等。即從座起。礼仏
而退。所以者何。此輩罪
根深重。及增上慢。未得
謂得。未証謂証。有如此
失。是以不住。世尊默然。
而不制止。爾時仏告。舎
利弗。我今此衆。無復枝
葉。純有貞実。舎利弗。
如是增上慢人。退亦佳矣。
汝今善聽。當為汝説。舎

利弗言。唯然世尊。願樂
欲聞。仏告舍利弗。如是
妙法。諸仏如来。時乃説
之。如優曇鉢華。時一現
耳。舍利弗。汝等当信。
仏之所説。言不虛妄。舎
利弗。諸仏随宜説法。意
趣難解。所以者何。我以
無数方便。種種因縁。譬
諭言詞。演説諸法。是法
非思量分別。之所能解。

唯ゆい有う諸しよ仏ぶつ。乃ない能のう知ち之し。所しよ
以い者しや何が。諸しよ仏ぶつ世せ尊そん。唯ゆい以い
一いち大だい事じ因いん緣ねん故こ。出しゅつ現げん於の世せ。
舍しや利り弗ほつ。云うん何が名みやう諸しよ仏ぶつ世せ尊そん。
唯ゆい以い一いち大だい事じ因いん緣ねん故こ。出しゅつ現げん
於の世せ。諸しよ仏ぶつ世せ尊そん。欲よく令りやう衆しゆ
生じやう。開かい仏ぶつ知ち見けん。使し得とく清しやう淨じやう
故こ。出しゅつ現げん於の世せ。欲よく示じ衆しゆ生じやう。
仏ぶつ知ち見けん故こ。出しゅつ現げん於の世せ。欲よく
令りやう衆しゆ生じやう。悟ご仏ぶつ知ち見けん故こ。出しゅつ
現げん於の世せ。欲よく令りやう衆しゆ生じやう。入にづ仏ぶつ

知見道故。出現於世。舍利弗。是為諸佛。唯以一大事因緣故。出現於世。佛告舍利弗。諸佛如來。但教化菩薩。諸有所作。常為一事。唯以佛之知見。示悟衆生。舍利弗。如來。但以一佛乘故。為衆生說法。無有余乘。若二。若三。舍利弗。一切十方諸佛。法亦如是。舍利弗。

過去諸かこしよぶつ佛ぶつ。以い無量むりよう無數むしゆ方ほう
便べん。種種しゆじゆいんねん因緣いんねん。譬諭ひゆこんじ言辭ごんじ。
而に為い衆生しゆじゆう。演說えんぜつ諸法しよほう。是ぜ
法ほう皆かい為い。一いち佛ぶつ乘故じゆうこ。是ぜ諸しよ
衆生しゆじゆう。從じゆう諸佛しよぶつ聞法もんほう。究竟くきやう
皆得かいたく。一切いっさい種智しゆち。舍利弗しやりほつ。
未來みらい諸佛しよぶつ。當出とうしゆつ於世とせ。亦やく
以い無量むりよう。無數むしゆ方便ほうべん。種種しゆじゆ
因緣いんねん。譬諭ひゆこんじ言辭ごんじ。而に為い衆しゆ
生じゆう。演說えんぜつ諸法しよほう。是ぜ法ほう皆かい為い。
一いち佛ぶつ乘故じゆうこ。是ぜ諸衆生しよしゆじゆう。從じゆう

仏聞法。究竟皆得。一切
種智。舍利弗。現在十方。
無量百千萬億。仏土中。
諸仏世尊。多所饒益。安
樂衆生。是諸仏。亦以無
量。無數方便。種種因縁。
譬諭言辞。而為衆生。演
説諸法。是法皆為。一仏
乘故。是諸衆生。從仏聞
法。究竟皆得。一切種智。
舍利弗。是諸仏。但教化

菩薩。欲以仏之知見。示
衆生故。欲以仏之知見。
悟衆生故。欲令衆生。入
仏知見道故。舍利弗。我
今亦復如是。知諸衆生。
有種種欲。深心所著。隨
其本性。以種種因縁。譬
諭言辞。方便力故。而為
說法。舍利弗。如此皆為。
得一仏乘。一切種智故。
舍利弗。十方世界中。尚

無二乘。何況有三。舍利
弗。諸仏出於。五濁惡世。
所謂劫濁。煩惱濁。衆生
濁。見濁。命濁。如是。
舍利弗。劫濁亂時。衆生
垢重。慳貪嫉妬。成就諸
不善根故。諸仏以方便力。
於一仏乘。分別説三。舍
利弗。若我弟子。自謂阿
羅漢。辟支仏者。不聞不
知。諸仏如來。但教化菩

薩事。此非仏弟子。非阿
羅漢。非辟支仏。又舍利
弗。是諸比丘。比丘尼。
自謂已得。阿羅漢。是最
後身。究竟涅槃。便不復
志求。阿耨多羅三藐三菩
提。當知此輩。皆是增上
慢人。所以者何。若有比
丘。實得阿羅漢。若不
信。此法。無有是處。除
度後。現前無仏。所以者

何。仏滅度後。如是等經。

受持読誦。解其義者。是

人難得。若遇余仏。於此

法中。便得決了。舍利弗。

汝等當。一心信解。受持

仏語。諸仏如来。言無虚

妄。無有余乘。唯一仏乘。

爾時世尊。欲重宣此義。

而説偈言

比丘比丘尼。有懷増上慢

優婆塞我慢。優婆夷不信

如によ是ぜ四し衆しゆ等とう

不ふ自じ見けん其こ過か

護ご惜しやく其こ瑕け疵し

衆しゆ中ちゆう之し糟そう糠こう

斯し人にん尠せん福ふく德とく

此し衆しゆ無む枝し葉よう

舍しや利り弗ほつ善ぜん聽ちよう

無む量りよう方ほう便べん力りき

衆しゆ生じゆう心しん所しよ念ねん

若にやく干かん諸しよ欲よく性しよう

仏ぶつ悉しつ知ち是ぜ已い

其ご数しゆ有う五ご千せん

於お戒かい有う欠けつ漏ろ

是ぜ小しよう智ち出い已しゆつ

佛ぶつ威ち德とつ故こ去こ

不ふ堪かん受じゆ是ぜ法ほう

唯ゆい有う諸しよ貞ちよう實じつ

諸しよ佛ぶつ所しよ得とく法ほう

而に為い衆しゆ生じゆう說せつ

種し種じゆ所しよ行きやう道どう

先せん世ぜ善ぜん惡な業くごう

以い諸しよ緣えん譬ひ諭ゆ

言辭方便力

令一切歡喜

或說修多羅

伽陀及本事

本生未曾有

亦說於因緣

譬諭竝祇夜

優婆提舍經

鈍根樂小法

貪著於生死

於諸無量仏

不行深妙道

衆苦所惱乱

為是說涅槃

我設是方便

令得入仏慧

未曾說汝等

當得成仏道

所以未曾說

說時未至故

今正是其時

決定說大乘

我が此し九く部ぶ法ほう
入にゅう大だい乘じょう為い本ほん
有う仏ぶつ子し心しん淨じょう
無む量りょう諸しよ仏ぶつ所しよ
為い此し諸しよ仏ぶつ子し
我が記き如によ是せ人にん
以い深じん心しん念ねん仏ぶつ
此し等とう聞もん得とく仏ぶつ
仏ぶつ知ち彼ひ心しん行ぎょう
声しやう聞もん若にやく菩ぼ薩さつ
乃ない至し於お一いち偈げ

隨ずい順じゆん衆しゆ生じやう說せつ
以い故こ說せつ是ぜ經きやう
柔にゅう軟なん亦やく利り根こん
而に行ぎやう深じん妙みやう道どう
說せつ是ぜ大だい乘じょう經きやう
來らい世せ成じやう仏ぶつ道どう
修しゆ持じ淨じやう戒かい故こ
大だい喜き充じゆう徧へん身しん
故こ為い說せつ大だい乘じやう
聞もん我が所しよ說せつ法ほう
皆かい成じやう仏ぶつ無む疑ぎ

十方じつぽう 仏土ぶつど 中ちゆう

無二むに 亦やく 無三むさん

但たん 以に 假け 名字みょうじ

說せつ 仏ぶつ 智ち 慧え 故こ

唯ゆい 此し 一いち 事じ 實じつ

終じゆう 不ふ 以い 小しょう 乘じゆう

仏ぶつ 自じ 住じゆう 大だい 乘じゆう

定じゆう 慧え 力りき 莊しょう 嚴ごん

自じ 証しゆう 無む 上じゆう 道どう

若にやく 以い 小しょう 乘じゆう 化け

我が 則そく 墮だ 慳けん 貪どん

唯ゆい 有う 一いち 乘じゆう 法ほう

除じよ 仏ぶつ 方ほう 便べん 說ぜつ

引いん 導どう 於お 衆しゆ 生じゆう

諸しよ 佛ぶつ 出しゆう 於と 世せ

余よ 二に 則そく 非ひ 真しん

濟さい 度ど 於お 衆しゆう 生じゆう

如によ 其こ 所しよ 得とく 法ほう

以い 此し 度ど 衆しゆ 生じゆう

大だい 乘じゆう 平びゆう 等どう 法ほう

乃ない 至し 於お 一いち 人にん

此し 事じ 為い 不ふ 可か

若人信歸にやくにんしんきぶつ 佛

亦無貪嫉意やくむとんしつち

故佛於十方こぶつとじつぽう

我以相嚴身がいそうごんしん

無量衆所尊むりょうしゆしよそん

舍利弗當知しやりほつとうち

欲令一切衆よくりょういっさいしゆ

如我昔所願によがしやくしよがん

化一切衆生けいっさいしゆじゆう

若我遇衆生にやくがぐしゆじゆう

無智者錯亂むちしやしやくらん

如來不欺誑によらいふごおう

斷諸法中惡だんしよほうちゆうあく

而獨無所畏にどくむしよい

光明照世間こうみょうしやうせけん

為說實相印いせつじつそういん

我本立誓願がほんりゆうせいがん

如我等無異によがとうむい

今者已滿足こんじやいまんぞく

皆令入佛道かいりやうにぶつどう

盡教以佛道じんきやういぶつどう

迷惑不受教めいわくふじゆきやう

我が知ち此し衆しゆ生じよう

未み曾ぞう修しゆ善ぜん本ほん

堅けん著じやく於お五ご欲よく

痴ち愛あい故こ生しよう惱のう

以い諸しよ欲よく因いん緣ねん

墜つい墮だ三さん惡な道くどう

輪りん迴ね六ろく趣しゆ中ちゆう

備び受じゆ諸しよ苦く毒どく

受じゆ胎たい之し微み形ぎよう

世せ世せ常じよう增ぞう長ちよう

薄はく德とく少しやう福ふく人にん

衆しゆ苦く所しよ逼ひつ迫ぱく

入にゆう邪じや見けん稠ちゆう林りん

若にやく有う若にやく無む等とう

依え止し此し諸しよ見けん

具ぐ足そく六ろく十じゆう二に

深じん著じやく虚こ妄もう法ほう

堅けん受じゆ不ふ可か捨しや

我が慢まん自じ矜こう高こう

諂てん曲こく心しん不ふ実じつ

於お千せん万まん億ノツ劫こう

不ふ聞もん仏ぶつ名みよう字じ

亦不聞正法

如是人難度

是故舍利弗

我為設方便

說諸尽苦道

示之以涅槃

我雖說涅槃

是亦非真滅

諸法從本來

常自寂滅相

仏子行道已

來世得作仏

我有方便力

開示三乘法

一切諸世尊

皆說一乘道

今此諸大衆

皆除疑惑

諸仏語無異

唯一無二乘

過去無數劫

無量滅度仏

百千萬億種

其數不可量

如是諸世尊

種種緣譬諭

無數方便力

演說諸法相

是諸世尊等

皆說一乘法

化無量衆生

令入於仏道

又諸大聖主

知一切世間

天人群生類

深心之所欲

更以異方便

助顯第一義

若有衆生類

值諸過去仏

若聞法布施

或持戒忍辱

精進禪智等

種種修福德

如に是よ諸ぜ人しよ等にん
とう

皆か已い成じよ仏ぶ道どう

諸しよ仏ぶ滅め度つ已ど

若に人やく善にん軟ぜん心なん
しん

如に是よ諸ぜ衆しよ生しゆ

皆か已い成じよ仏ぶ道どう

諸しよ仏ぶ滅め度つ已ど

供く養よう舍しゃ利り者しゃ

起き万まん億ノ種く塔しゆ

金こん銀こん及ぎ頗ゆう黎はり

碑し磔や与こ碼よ碁め

玫ま瑰い瑠え璃る珠り
しゆ

清しよ淨じよ広こう嚴ごん飾じ

莊しよ校ぎ於お諸しよ塔どう

或わ有く起う石き廟しゃ

梅せん檀だん及ぎ沈め水う

木も密みつ竝び余よ材ざ

甄せん瓦が泥で土ど等とう

若に於やく曠お野こう中や

積し土やく成ど佛じよ廟ぶ

乃な至い童し子どう戲じ

聚じ沙ゆ為しゃ佛い塔ぶ

如によ是ぜ諸しよ人にん等とう

若にやく人にん為い仏ぶツ故こ

刻こく彫ちやう成じやう衆しゆ相そう

或わく以い七しツ宝ぼう成じやう

白びやく鐵ろう及ぎゆう鉛えん錫じやく

或わく以い膠きやう漆しツ布ぶ

如によ是ぜ諸しよ人にん等とう

綵さい画え作さ仏ぶツ像ぞう

自じ作さ若にやく使し人にん

乃ない至し童どう子じ戲け

或わく以い指し爪そう甲こう

皆かい已い成じやう仏ぶツ道どう

建こん立りゆう諸しよ形ぎやう像ぞう

皆かい已い成じやう佛ぶツ道どう

鍮ちゆう鈔じやく赤しやく白びやく銅どう

鉄てつ木もく及ぎゆう与よ泥でい

嚴ごん飾じぎ作さ佛ぶツ像ぞう

皆かい已い成じやう佛ぶツ道どう

百ひやく福ふく莊しやう嚴ごん相そう

皆かい已い成じやう佛ぶツ道どう

若にやく草そう木もく及ぎゆう筆ひつ

而に画え作さ佛ぶツ像ぞう

如に是よ諸ぜ人しよ等にんとう

具ぐ足そく大だい悲ひ心しん

但たん化け諸しよ菩ぼ薩さつ

若に人やくにん於お塔とう廟みょう

以い華け香こう旛ばん蓋がい

若に使やくし人にん作さ樂がく

簫しやう笛ちやツ琴きん笙くう篳ごう

如に是よ衆ぜ妙しゆ音みょうおん

或わく以い歡かん喜ぎ心しん

乃ない至し一いつ小しやう音おん

若に人やくにん散さん乱らん心しん

漸ぜん漸ぜん積しやツ功く德どく

皆かい已い成じやう仏ぶつ道どう

度ど脫だつ無む量りやう衆しゆ

宝ほう像ぞう及ぎやう画え像ぞう

敬きやう心しん而に供く養やう

擊きやツ鼓く吹すい角かく貝ばい

琵び琶わ鏡にやう銅どう鈇ぼつ

尽じん持じ以い供く養やう

歌か唄ばい頌じゆ佛ぶつ德どく

皆かい已い成じやう佛ぶつ道どう

乃ない至し以い一いつ華け

供養くよう於お画像えぞう

或わく有人うにん礼拜らいはい

乃至ないし拳こ一い手しゆ

以い此し供養像くようぞう

自じ成じよう無む上じよう道どう

入にゆう無む余よ涅槃ねはん

若にやく人にん散乱心さんらんしん

一い称しやう南無なむ仏ぶつ

於お諸しよ過か去こ仏ぶつ

若にやく有う聞もん是ぜ法ほう

未み来らい諸しよ世せ尊そん

漸ぜん見けん無む数しゆ仏ぶつ

或わく復ぶ但たん合掌がっしょう

或わく復ぶ少しょう低頭ていづ

漸ぜん見けん無む量りやう仏ぶつ

広こう度ど無む数しゆ衆しゆ

如によ薪しん尽じん火か滅めつ

入にゆう於お塔廟中とうみやうちゆう

皆かい已い成じよう仏ぶつ道どう

現げん在さい或わく滅めつ後ご

皆かい已い成じよう仏ぶつ道どう

其こ数しゆ無む有う量りやう

是諸如来等

一切諸如来

度脱諸衆生

若有聞法者

諸仏本誓願

普欲令衆生

未來世諸仏

無数諸法門

諸仏兩足尊

仏種從縁起

是法住法位

亦方便説法

以無量方便

入仏無漏智

無一不成仏

我所行仏道

亦同得此道

雖説百千億

其實為一乘

知法常無性

是故説一乘

世間相常住

於お道どう場じょう知ち已い
天てん人にん所しよ供く養よう
其ご數しゆ如によ恒ごう沙じや
安あん穩ノん衆しゆ生じょう故こ
知ち第だい一いち寂じやく滅めつ
雖すい示じ種しゆ種じゆ道どう
知ち衆しゆ生じょう諸しよ行ぎょう
過か去こ所しよ習しゅう業ごう
及ぎ諸ッ根しよ利こん鈍り
譬ひ諭ゆ亦やく言こん辭じ
今こん我が亦やく如によ是ぜ

導どう師し方ほう便べん說せつ
現げん在さい十じつ方ほう仏ぶつ
出しゅつ現げん於ノ世せ間けん
亦やく說せつ如によ是ぜ法ほう
以い方ほう便べん力りき故こ
其ご實じつ為ち仏ぶつ乘じょう
深じん心しん之し所しよ念ねん
欲よく性しょう精しょう進じん力りき
以い種しゆ種じゆ因いん緣ねん
隨ずい心おう方ほう便べん說せつ
安あん穩ノん衆しゆ生じょう故こ

以種種法門い しゆ じゆ ほう もん

我以智慧力が い ち え り き

方便說諸法ほう べん せつ しよ ほう

舍利弗當知しや り ほつ とう ち

見六道衆生けん ろく どう しゆ しょう

入生死險道にッ しょう じ けん どう

深著於五欲じん じゃく お ご よく

以貪愛自蔽い とん ナい じ へい

不求大勢仏ふ ぐ だい せい ぶつ

深入諸邪見じん にゆう しよ じゃ けん

為是衆生故い ぜ しゆ じょう こ

宣示於仏道せん じ お ぶつ どう

知衆生性欲ち しゆ じょう しょう よく

皆令得歡喜かい りょう とつ かん き

我以仏眼觀が い ぶつ げん かん

貧窮無福慧びん ぐう む ぶく え

相續苦不斷そう ぞつ く ふ だん

如犂牛愛尾によ みよう こ あい み

盲瞑無所見もう みよう む しよ けん

及与斷苦法ぎゆう よ だん く ほう

以苦欲捨苦い く よく しゃ く

而起大悲心に き だい ひ しん

我が始し坐ざ道どう場じょう

於お三さん七しち日に中つちゅう

我が所しよ得とく智ち慧え

衆しゆ生じょう諸しよ根こん鈍どん

如に斯じ之しよ等ぼん類のう

爾ご時せ諸し梵てん王のう

護びよう世よ四しよ天てん王しゆ

竝く余ぎよう諸がつ天しよ衆らう

恭が敬そく合じ掌し礼ゆい

我しゆ即じょう自もつ思ぎ惟い

衆しゆ生じょう没もつ在ぎ苦い

觀かん樹じゆ亦や經きよう行ぎよう

思し惟ゆい如に是よ事ぜ

微み妙みよう最さい第だい一いち

著じやく樂らく痴ち所しよ盲もう

云うん何が而に可か度ど

及ぎゆつ諸しよ天てん帝たい釈しゃく

及ぎゆう大だい自じ在さい天てん

眷けん属ぞく百ひやく千せん万まん

請しよ我が轉てん法ぽう輪りん

若にやく但たん讚さん仏ぶつ乘じよう

不ふ能のう信しん是ぜ法ほう

破は法ほう不ふ信しん故こ

墜つ於お三さん惡な道くどう

我が寧によう不ふ說せつ法ぼう

疾しつ入にゆう於お涅ね槃はん

尋じん念ねん過か去こ小ぶつ法ぼう

所しよ行ぎよう方ほう便べん力りき

我が今こん所しよ得とく道どう

亦やく忘おう說せつ三さん乘じよう

作さ是ぜ思し惟ゆい時じ

十じつ方ぼう小ぶつ法かい皆げん現げん

梵ぼん音のん慰い諭ゆ我が

善ぜん哉さい釈しや迦か文もん

第だい一い之つ導し師どうし

得とく是ぜ無む上じよう法ほう

隨ずい諸しよ一い切つ小さい法ぶつ

而に用ゆう方ほう便べん力りき

我が等とう亦や皆つ得かいとく

最さい妙みよう第だい一い法つぼう

為い諸しよ眾しゆ生じよう類るい

分ふん別べつ說せつ三さん乘じよう

少しやう智ち樂らく小しやう法ぼう

不ふ自じ信しん作さ小ぶつ法ぼう

是故以方便

雖復說三乘

舍利弗當知

深淨微妙音

復作如是念

如諸仏所說

思惟是事已

諸法寂滅相

以方便力故

是名轉法輪

及以阿羅漢

分別說諸果

但為教菩薩

我聞聖師子

喜稱南無仏

我出濁惡世

我亦隨順行

即趣波羅柰

不可以言宣

為五比丘說

便有涅槃音

法僧差別名

從久遠劫來

生死苦永尽

舍利弗当知

志求仏道者

咸以恭敬心

曾從諸仏聞

我即作是念

為説仏慧故

舍利弗当知

著相憍慢者

今我喜無畏

讚示涅槃法

我常如是説

我見仏子等

無量千萬億

皆來至仏所

方便所説法

如來所以出

今正是其時

鈍根小智人

不能信是法

於諸菩薩中

正直捨方便しやうじきしやほうべん

菩薩聞是法ぼさつもんぜほう

千二百羅漢せんひやくらかん

如三世諸仏によさんぜしよぶつ

我今亦如是がこんやくによぜ

諸仏興出世しよぶつこうしゆつせ

正使出于世しやうししゆつつせ

無量無數劫むりやうむしゆこう

能聽是法者のうちやうぜほうしや

譬如優曇華ひによううどんげ

天人所希有てんにんしよけう

但說無上道たんせつむじやうどう

疑網皆已除ぎもうかいじよ

悉亦當作仏しつちやくとうさぶつ

說法之儀式せつぽうしぎしき

說無分別法せつむぶんべつぽう

懸遠值遇難けんのんちぐなん

說是法復難せつぜほうぶなん

聞是法亦難もんぜほうやくなん

斯人亦復難しにんやくぶなん

一切皆愛樂いっさいかいあいぎやう

時時乃一出じじないいつしゆつ

聞もん法ぼう歡かん喜ぎ讚さん

則そく為い已い供く養よう

是ぜ人にん甚じん希け有う

汝にょ等とう勿も有ツ疑ツ疑ぎ

普ふ告ごう諸しよ大だい衆しゆ

教きやう化け諸しよ菩ぼ薩さつ

汝にょ等とう舍しゃ利り弗ほつ

当とう知ち是ぜ妙みやう法ほう

以い五ご濁じやく惡あく世せ

如にょ是ぜ等とう衆しゆう生じゆう

当とう来らい世せ惡あく人にん

乃ない至し癸ほつ一いち言ごん

一いつ切さい三さん世ぜ仏ぶつ

過か於お優う曇どん華げ

我が為い諸しよ法ほう王おう

但たん以ニ一いち乘じゆう道どう

無む声しゆう聞もん弟で子し

声しゆう聞もん及ぎやう菩ぼ薩さつ

諸しよ仏ぶつ之し秘ひ要よう

但たん樂ぎやう著じやく諸しよ欲よく

終じゆう不ふ求ぐ佛ぶつ道どう

聞もん佛ぶつ說せつ一いち乘じゆう

迷惑不信受

破法墮惡道

有慙愧清淨

志求仏道者

當為如是等

広讚一乘道

舍利弗當知

諸仏法如是

以万億方便

隨宜而説法

其不習學者

不能曉了此

汝等既已知

諸仏世之師

隨宜方便事

無復諸疑惑

心生大歡喜

自知當作仏

妙法蓮華經卷第一